

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

指定文化財(史跡)

はいあさばらでらそうとうあと

廃浅原寺層塔跡

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



場所

倉敷市浅原



時代

平安～室町時代



指定年月日

昭和40(1965)年
3月25日



所有

安養寺



この史跡について

この層塔の跡は安養寺本堂の西、一段高くなったところに存在します。

現在は建物の基礎になった石(礎石)が15個、中心の柱を支える心礎が1つ残されています。

塔跡は3間×3間で礎石は本来16個あったはずですが、北西の角が1個失われています。

もともとこの地には浅原寺という大寺があり、平安時代から鎌倉時代にかけて栄えていました。この塔跡はその頃のもののか、あるいは室町時代にはいつて再建された塔のものと思われる。